



県内唯一の選出

9/15 重柳アカシヤ会に表彰

豊科南穂高の重柳アカシヤ会（臼井幾子代表）はこのたび、「社会参加活動事例」に県内で唯一選出されました。この事例選出事業は、高齢者の団体が社会とのかかわりを持ちながら、生き生き活動している事例を広く紹介するため内閣府が行っているものです。同会は平成10年に発足。21人の会員が手芸などを中心に月1回活動しており、長年の実績が認められ選出されました。役員に活動状況を尋ねると「活動はもちろん、その後のお茶も楽しみ。和気あいあいとやっています」と充実した様子を話してくれました。



研成義塾の教え、今も

9/8 最高齢者にお祝い品伝達

市では9月8日、高齢者祝賀事業として、平林市長が市内男性の最高齢者である小林達郎さん（104歳・豊科南穂高）を訪問し、お祝い品を手渡しました。

小林さんは、明治から昭和初期にかけて多くの逸材を育てた研成義塾の元塾生。「父は塾での教えを受け継ぎ、常に自己規制をし続け、研究心も旺盛です」と話す息子・正樹さんの話から、長寿の秘けつがうかがえました。

大規模災害に備えて

10/5 総合防災訓練

市の総合防災訓練を、10月5日堀金地域で実施しました。訓練は地域の自主防災組織や市民、消防団のほか、市と災害協定を結ぶ医師会や中部電力など計17の団体、企業も初参加した大規模なものとなりました。

会場となった堀金小学校グラウンドでは、消火訓練や倒壊家屋からの被災者救助、応急手当訓練などに市民が参加。体育館では、けがの程度によりその後の治療や対処の優先順位を判定する「トリアージ」訓練も実施されました。

今後市では、改善点などの情報をとりまとめ、さらなる災害対応力の向上を図ります。



大人気！ 安曇野定食

10/4 安曇野フェスタ

第3回安曇野フェスタ（同実行委員会主催）が10月4日、国営アルプスあづみの公園で開かれました。コスモスで彩られた園内では、安曇野の特産品の販売や緑化体験教室などの催しをはじめ、歌や踊り、演奏など盛りだくさんのステージイベントが開かれ、市内外から訪れた約1万7千人の来場者は、それぞれに秋晴れの安曇野を満喫しました。また、野菜や米、信州サーモンなど安曇野産にとことんこだわった「安曇野定食」を販売。用意していた1,000食は2時間あまりで完売となりました。千曲市から訪れた今井さん一家は「地元産で作ったと聞いて感心しました。どのお料理もおいしいですね」と感想を話してくれました。



きずなで防犯力アップ

10/4 ふれあいコンサート

ふれあいコンサート（安曇野警察署主催）が10月4日、安曇野スイス村サンモリッツで開かれました。コンサートに先立ち、防犯ボランティア団体「劇団あやめ」（明科）の皆さんが寸劇を披露。増加傾向にある振り込め詐欺を取り上げ、被害をなくすには日ごろから家族と地域のきずなが大切と呼びかけました。その後、県警音楽隊による演奏やカラーガード隊の演技が行われました。警察車両の展示や試乗も行われ、白バイに試乗した長橋克弥くん（小4）は、「白バイがかっこいい。来年もまた来たい」と話してくれました。



笑顔は幸せを呼ぶ

9/4 料理研究家・山本麗子さん講演会

市では料理研究家・山本麗子さんを講師に迎えた介護予防講演会を9月4日、堀金総合体育館で開催しました。山本さんは、笑顔になることで自然と幸せを感じるようになった経験などを紹介し、「ありがとうと言おう。ありがとうがなければ私は料理を作っていなかったかもしれない」「一人で食べている人は、お友達と食べる機会を設けてほしい」と語りました。また後半には、参加者の質問を受け、高齢者も食べやすいキャベツの調理法などを紹介し、250人ほどの参加者は、メモを取るなど熱心に聞き入っていました。